

## 憲法改定させない！ 九条を守ろう！

核超大国は、核禁止条約の発効・実施を求める、世界の人々・多数の国の声を、恐れている。岸田政権は、戦争反対の国民の声の結集を恐れている。

『第二次世界大戦後にできた「日本国憲法」は、「戦争はいやだ。不幸なことばかりだ。これからは平和に向かって、地球上の全人類が戦争をしないで生きていこう」という気持ちが高まっていたときに生まれたものです。その前進の瞬間にできたということを忘れてはいけないのではありませんか。世界史からの使命が私たち日本人には課せられています。』別項の本紹介にある井上ひさしさんの文の引用です。

私たちはそのことを忘れないように九条を変えさせない声を大きくしたいと思います。できるところで署名を広げ、おおいに恐れさせましょう。

(9条の会も参加する9条改憲NO! 全国市民アクションなどのアピールご覧ください)

### 年初報告

2022年1月5日運営委員会にて、役員、代表・近藤脩、会計・雪江勇、会計監査・山口義昭は再任され、2021年会計は承認されました。

会計については別紙のとおり報告します。

九条の会・いすみ市 運営委員会



## 2022年を迎えて

宮原

今年の寅年は私たちにとって7回目の区切りの年である。虎は千里行って千里帰るといふ。寅年はその勢いが盛んな様子を使う。

改憲を目指す勢力は選挙の結果に乗じて国民投票に持ち込もうとしている。改憲の狙いは9条の改悪であり、平和憲法をなし崩しにする事である。

それに対抗して、牙を剥いて平和憲法を守らなくてはならない。平和の闘いは、国会請願、国民投票、さらに選挙活動と平和を持続していくには厳しいものになるであろう。

そのためには憲法を理解してもらう活動を一人一人が持つことである。

私たちは、今年からホームページ（レンズを通して巡る二人のたび）を公開しました。内容は

1. いすみ川をめぐる いすみ川は希少動植物の宝庫、美しい故郷の破壊は許さない。
2. 東北震災を悼む 福島原発災害の復興の様子と対応の遅れ、復興資金で建物はピカピカ、土木作業はお金がまわり、山野は荒れ放題、人々の住むところは制限される。
3. 中華人民共和国 中国の人々を敵視しない。楽天的で開放的な人々を理解すると共に香港弾圧に反対する。

その他書籍や動画など

<https://ukmkm9.wixsite.com/my-site-14>

宮原 咸太郎

[ukmkm@hb.tp1.jp](mailto:ukmkm@hb.tp1.jp)

また、インターネットでchange.orgの署名活動に参加しています。主に辺野古の海埋め立て反対や子どもの権利促進賛成に投票しています。

そして、平和を語ることのできる友達を多く持つこと、コロナに負けるな、マスコミに負けるな、閉じこもるな、と言いたい。

2022

## 今年のひとこと



昨年末、「憲法を読む・九条を語る・二つの憲法という内容の本」（紹介別項井上ひさし）を購入。解説もわかりやすく、1月6日未明読了。面白く・はじめて知ることも多く感動しました。先週の学習会では「いちばん偉いのはどれか」の部分を読む。「アンパンで偉いのはアンコなのだ…」本質を突いた話でした。

(近藤)

私は戦後生まれの団塊世代。これまで戦争体験をせずに、平和憲法を享受して生きてこれました。かつて国民に人権も民主主義も無い旧憲法下で戦争に巻き込まれていった先人達の血と涙の結晶であり、世界的にも優れた現日本国憲法を活かした法整備や政策こそが必要です。「憲法改正」の名の下に根底を壊す動きを止めなければと思います。

(阪倉 芳枝)

事なかれ主義、責任回避、隠ぺい、先送り、建設統計の改ざんに、霞ヶ関が、凝縮している。声をあげるということはどういうことか。考えてみたい。

(前田)

今日住む所や食べるものにも事欠く人々がいること、今の政治は確実に弱くさせられる人々を生み出していると思います。そんな困窮する人々を無償で支え寒風吹き荒ぶ中で活動をする人たちの存在には心打たれる。憲法の生かされた社会に作り変えたいと切実に思います。

(川島 る美)

## 学習会の予定



場 所 大原文化センター

- ・憲法条文など資料はお持ちください
- ・九条の会ブックレット等使用します
- ・課題など提案歓迎
- ・資料代 100円

開催日 以下の土曜日

2月19日 3月19日 4月23日  
時 間

AM10:00~12:00

## 今年度の年会費

500円を集金します  
よろしくお願いします

昨年の衆院選で改憲発議に必要な議席を得た改憲勢力の前のめりな発言が目立つが、さっそうと9条を守るための新たな署名が提起され、これと合わせて夏の参院選でなんとか巻き返しをと思いつつ、気力だけでは如何ともしがたい体力の衰えを痛切に感じる年明けです。

(ユキエ)

戦争放棄の9条違反、ついに敵基地攻撃も可能な国にしようとする岸田内閣に反対します。

(和久 伸一)

伝 承 戦争は人間を狂わす

戦争体験者が無くなる時代

伝えられた悲惨な事

日本国憲法の平和、民主、人権という

原点とともに若者に伝えたい

(山口)

年が明け、今年こそはと思いながら実現できないでいるものの1つに、スマホがある。テレビや新聞を見ていると、こんな時、スマホがあったら便利だろうなと感じることがどんどん増してきている。勤務先近くの図書館はコロナ禍で時短になり帰るころには閉まっているし、駅そばの本屋は撤退して今は無い、本当に不便になった。スマホデビューして調べ物をしてみたい。便利なツールは、デメリットもあると聞くが、まずは使いこなせるようになりたい。そして自分と違う考えや広い世界を知って、もう一歩踏み出していけたらと思う。

(榎)

## 本の紹介



井上ひさし 憲法指南

解説 小森陽一

2021年発行

岩波現代文庫

税込み1220円

一権力の集中からその権力をどう引き剥がすかを記したものの、それが憲法である。一井上ひさし

(本の帯より)